

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

### ②施設・事業所情報

名称： 鶴見ルーナ保育園	種別： 認可保育園
代表者氏名： 園長 長谷川 裕佳	定員（利用人数）： 90（97）名
所在地： 230-0003 神奈川県横浜市鶴見区尻手1-1-15	
TEL： 045-582-4152	ホームページ： <a href="https://luna-hoikuen.com/tsurumi/">https://luna-hoikuen.com/tsurumi/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日	2010年4月1日
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 あおい会
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員： 13名
専門職員	保育士 21名 栄養士 1名
	看護師 1名 調理員 4名
	事務員 1名 保育補助 1名
施設・設備の概要	居室数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室7室・調乳室2</li> <li>・事務室・調理室・園庭</li> <li>・多目的ホール・相談室</li> </ul> 設備等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房（エアコン、床暖房）</li> <li>・組み立てプール</li> <li>・駐車場・園庭</li> </ul>

### ③理念・基本方針

- 《理念》
- ・ これからの社会を担う子どもたち、一人ひとりの最善の利益を保障することを基本に、心身共に健やかに育つ環境づくりに努め、地域に開かれた子育て支援を行う。
- 《基本方針》
- ・ ひとりひとりが健康で明るく毎日を過ごせるよう、心を大切にする保育を進めていくとともに子ども同士の関わりを大切にし、いろいろな経験を通してお互いが成長し合う場となるように努める。
  - ・ 集団の生活時間が長時間に及んでも、子どもにとって家庭生活が何より大切であり基盤となるので、家庭と十分に連携をとりながら、子どもにとってのより良い保育を進めていくように心がける。
  - ・ 子どもの健やかな育ちを求め、職員一人ひとりが資質の向上を目指し、より質の高い保育を行うとともに、人権を尊重し、プライバシーを保護することに努める。
  - ・ 保護者が安心して子育てと仕事が両立できるよう連携を強める。また、地域へ積極的に子育て情報(育児講座・相談、交流保育、一時保育等)を発信し、地域の子育て支援の拠点となるよう努める。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

鶴見ルーナ保育園は、2010年4月に開設した認可保育園です。横浜市鶴見区の京急本線八丁畷駅またはJR南武線尻手駅から徒歩10分程のところにある大規模マンションの1階にあります。マンションの敷地内には様々な種類の木や植物が植えられており緑豊かな環境です。対象は0～5歳児で定員は90名、産休明け保育、一時保育、延長保育、障がい児保育を実施しています。園舎は日当たりが良く、園庭では子どもたちが季節の野菜を栽培し、水やりなどをしながら野菜の生長の様子を観察したり、滑り台等の遊具で思い切り体を動かしたりして、のびのびと遊んでいます。

運営法人は社会福祉法人あおい会で、市内に当園を含めた保育園4か所、キッズクラブ2か所、公益事業1か所を運営しています。系列の保育園4園の交流事業として、3～5歳児の合同遠足、5歳児のドッジボール大会や観劇などを実施しています。また、4園の職員全員が参加する法人全体会議や、法人内での研修（交換保育やキッズクラブとの交流、見学保育）、海外研修やマナー研修、コミュニケーション研修等を実施しています。0～2歳児クラスでは、ゆるやかな育児担当制を導入し、3～5歳児クラスでは、子どもの主体性を引き出すための保育環境づくりを行って、保育理念と保育方針の実現に向けて、法人全体で取り組んでいます。定期的な臨床心理士の巡回指導があり助言を取り入れて保育の実践につなげています。2～5歳児クラスでは外部講師による「リトミック」、3～5歳児クラスでは「英語」「体操」「絵画造形教室」の活動があり、ゆたかな感性を育てています。動画や写真、ドキュメンテーションを活用して、日々の子どもの活動の様子を保護者に伝えています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年7月11日（契約日）～ 2024年3月14日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2018年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

##### ◆子どもたちは多様な経験を通じゆたかな感性をはぐくんでいます

園では、各年齢に応じさまざまな活動を組み入れて特に幼児クラスでは自分たちが考え自主的に活動できるように選択保育を取り入れています。自然に親しむ芋ほりや、プランターでの野菜栽培、クッキング、弁当箱に給食を詰めて公園に出かけるピクニックデイなどで、食に対する関心を引き出せるようにしています。外部講師による英語、リトミック、体操、絵画造形では、本物を感じながら専門的な指導を受けています。系列園と合同で行う観劇や地域との交流事業を通して、社会的なルールや態度を学んでいます。子どもたちは、一つ一つ体験を積み重ねながら、ゆたかな感性をはぐくみ元気に園生活を送っています。

##### ◆職員が参加した外部研修の成果の共有方法を検討されることを期待します

キャリアパス基準には、必要とされるスキル、必要な研修、等級が示され、これらを踏まえた職員研修計画を作成し、園内研修のほか、キャリアアップ研修など外部研修への職員の派遣を行っています。職員は外部研修に参加し、自らの職業能力の開発に取り組んでいます。受講者はレポートを作成して振り返り、成果の共有に努めています。一方、当園では、個々の職員が受講した研修成果を実践に反映したいと振り返っています。外部研修では、最新の理論や実践方法など、貴重な知識・技術が提供されています。成果の共有方法や実践への反映方法など、今後、検討されることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価を受審するにあたり、話し合いの時間を確保することは大変でしたが、職員一人ひとりが話し合いに参加し情報共有することで、園の良い点や課題などが明確となり有意義な時間を与えていただきました。また、これまでの保育だけではなく、園全体を客観的に振り返る良い機会となりました。

改善できるところ、共有できることなど見直しをしながら、安心安全な保育が提供できるように職員と一緒に努めていきたいと思えます。

お忙しい中、アンケートにご協力をいただきました保護者の皆さま、実地調査の際には、取り組んでいることを丁寧に確認し、ご対応をしていただきました評価機関の皆さまに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり